



令和三年神無月

# 城北中だより

## 城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

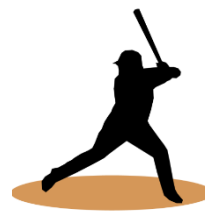
## 生徒数

1年	167名
2年	157名
3年	173名
特別支援級	8名
全校生徒	505名

## 野球部おめでとう！そして全国学調の結果について

校長 遠藤 敏恵

城北中学校の野球部が、9月20日の埼玉県中央大会で見事優勝し、来年3月に行われる「文部科学大臣杯第13回全日本少年春季軟式野球大会」の全国大会出場を決めました。8月4日に行われたさいたま市予選の初戦から数えて、約2ヶ月間にも渡る戦いでした。8、9月の緊急事態宣言下、制約の多い中でのこの野球部の躍進は、城北中の希望となりました。本当におめでとう。私もいくつかの試合を観戦させてもらいましたが、意識の高い集団だなと感心する場面が多くありました。バッターボックスに入ったら何をやる、塁に出たら何をすると、一人ひとりがちゃんと心得ていて、それを着実に実行していました。それは単に個々の技術に頼るものではなく、長い時間をかけてチーム全体で積み重ねてきたものなのだな、こういうチームが勝つのだな、とも感じました。野球部を支えて下さった多くの皆さんにも、心から感謝します。ありがとうございました。



今年5月に、文部科学省による全国学力・学習状況調査が実施されました。これは全国の小学6年生と中学3年生を対象に、毎年実施されているもので、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。（文部科学省HPより抜粋）」を目的とし、今年度は、本校でも、国語、数学（算数）の教科に関する調査と、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査を行いました。対象は3年生のみでしたが、生活習慣等に関する質問紙調査の結果は、全校生徒に共通する傾向もあると思いますのでお知らせします。

まず「学校に行くのは楽しいですか」、「友達と協力するのは楽しいと思いますか」、「人が困っている時には進んで助けていますか」、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」等、学校生活に関する質問には、およそ90%以上の生徒が、肯定的な回答をしていました。また「自分にはよいところがあると思いますか」、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった自分自身に関する質問にも、肯定的な回答をする生徒が多く見られました。これらの項目に関しては、全国や埼玉県の結果を大きく上回っているものもあり、仲間に対して進んで協力したり助け合ったりしながら、自分を肯定的に捉え、学校生活を楽しんでいる生徒が多くいる様子がうかがえました。



一方で、携帯電話・スマートフォンの利用に関する「使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」や「1日当たりどれくらいの時間ゲームをしますか」といった質問には、課題が見られ、携帯電話等の使い方については、約3分の1の生徒が「家の人と約束事を決めていない」や「守っていない」と回答し、全体の約5分の1の生徒が「1日当たり4時間以上ゲームをしている」と回答していました。加えて、休日の家庭学習に関する質問には、約4分の1の生徒が「全くしない」と回答していました。

これらの結果については、今後、本校における教育指導の充実及び改善に役立ててまいります。是非ご家庭での話題にもあげて頂ければと思います。